

公表

事業所における自己評価総括表

児童発達支援

○事業所名	タチアオイの教室			
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 9日		～	令和7年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 9日		～	令和7年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月の職員会後に研修と事例検討を行い、職員の質の向上を図っている。	いろいろな先生達からアドバイスをもらっている。活動の様子や子どもたちの様子を動画に撮り、いろいろなクラスの職員と情報共有している。	事例検討だけでなく、活動の充実化を図るため、授業研も行っていく。
2	子どもたちが主体的に活躍できる場を設けたり、母体となる施設での行事にスムーズに参加できるように、保育園や幼稚園で行われる行事をおこなっている。	運動会、遠足、卒園式を行っている。	参加人数の増加。状況に合わせた会場や行き先の変更。社会資源の利用。
3	毎月保護者会と参観を開催している。保護者勉強会を年に2回、進路説明会を年2回開催している。	保護者同士が交流しやすいようにお茶会風にしたリ、不用品交換会や、子どもたちの活動で使用する物の作製などを行った。夏休みには放デイの保護者と合同でも行った。	放デイの保護者との交流会を今後も開催していきたい。また、就労先などの子ども達の今後の進路について外部から（相談員さん）講師を招いて話を聞く機会を持てるとよいと思う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園庭や大型遊具がなく、運動量が少ない。	園庭や覆い型遊具がない。外出する機会が少ない。	運動量が確保できるような活動の組み立てをしていく。散歩コースの拡充や地域の公園や施設に出かける等社会資源を利用していく。
2	園や地域の子どもたちと交流する場がない。	周りに保育園がない。保育園の先生達との交流できる場がない。	行事や活動を地域の施設等で行うよう組み込んでいく。
3	受給日数が少なく、子どもの定着を図りにくい。	受給日数が必要な説明が十分にできていない。施設として新しいため、職員の経験値が低く、子どもの変化が自信をもって伝えられていない。	支援方法を明確にし、支援に自信をつける。